

＜週報No. 3, 033＞ 3, 146 回例会
2024年1月19日（金）

- 会長／山田 文雄 ■副幹事／宮坂 康弘
- ◆司会＝北川 和彦SAA、合田 敦子副SAA
- ◆ゲストビジター＝金子ゆかり諏訪市長
- ◆出席報告

本日	63.46%	19名欠席
前回訂正	75.0%	13名欠席

- ◆ラッキーナンバー＝No.3 宮坂康弘君 No.17 平林明君 No.21 平林正光君 No.25 北川和彦君 No.26 五味武嗣君

◆ニコニコボックス＝金子ゆかり諏訪市長＝あけましておめでとうございます。本日はお招きありがとうございます。岩波寿亮君＝金子市長ようこそ、宜しくお願ひします。山田文雄君・宮坂 康弘君＝金子ゆかり諏訪市長、ようこそ諏訪ロータリーへ、本日の年頭所感楽しみにしています。宜しくお願ひいたします。有賀昭彦君・山崎晃君・森幸俊君＝金子市長をお迎えして。伊藤武利君・折井俊美君・朝倉英仁君・小口武男君＝金子市長、ようこそおいで頂きました。本日は宜しくお願ひします。北川和彦君・平林明君・平林正光君・合田敦子君＝金子市長ようこそ。本日は宜しくお願ひいたします。古屋了君＝梶川先生のお世話になって大晦日に6人目の孫が無事産まれました。今年も宜しくお願ひします。吉越潔君＝本年も宜しくお願ひいたします。八幡一成君＝本年も宜しくお願ひします。12月は例会の出席が出来ずにすみませんでした。倉谷英行君＝4月より事務所が松本に移転することになりました。担当エリアは、変わらず居住地も諏訪のままですので、引き続き宜しくお願ひ致します。五味武嗣君＝金子所長、年頭所感よろしくお願ひいたします。宮坂康弘君・平林明君・平林正光君・北川和彦君・五味武嗣君＝ラッキーナンバーに当たって。

◆会長告知・山田 文雄君＝今日はライトな話題から少し離れて、「ロータリーの奉仕の理念」その2と題してお話しします。少し長いですがご容赦願ひます。「ロータリーの奉仕の理念」に付いて以前、第1回目としてお話しした骨子は、少なくとも米山梅吉さんの時代には、(という前提付きですが)「ロータリーの奉仕の理念」はクラブ計画書に載っている第1標語(超我の奉仕)と第2標語(最もよく奉仕する者、最も多く報られる)の事であり、この2つは実は同じことを言っているという事と、これは昔から世界に言い伝えられている「黄金律」の事だろうという事、黄金律とは昔から世界各地に残る格言で、例えばペルシャ人曰く云々、佛陀曰く云々、モハメッド曰く、ヘブライ人曰く、ナザレのイエス曰くと、言っている事は「あなたが他の人にやってもらいたいことを、あなたは他の人に先にやってあげなさい」という事です。この奉仕の理念を社会の隅々まで広げる事が、本来のロータリーの社会奉仕であり、それは私たちが幸せになる道でもある事をお話ししました。この根拠は越谷東RC青木伸翁さんの文章と、ロータリーの「決議 23-24」です。しかし、その後、ロータリーのいろいろな文献を読み漁った中で、次のような記述の文献がありました。「ロータリーの奉仕の理念」は、

意図的に、明確に示されていない…」意図的に？何のことでしょうか…。これを疑問①とします。又、根拠となる「決議 23-24」には冒頭「次の声明は 1923 年国際大会で採択され、以後の国際大会で改正されたものである。これは、その歴史的価値から手続要覧に含まれている」歴史的価値から手続要覧に載せてある、という事は、骨董品の価値のあるものであるが、今の時代では実用的でない、という事でしょうか…。これを疑問②とします。この話は一旦おいて、本年度のRI 会長マッキナリーさんの提唱の中で中心を占めているメンタルヘルスに付いての記述(これはエレクトの時のRI テーマ発表画像で拝見して以来ずっと気になっていた記述です)、この記述に、私は決議 23-24 との共通性を見出しました。マッキナリーさん曰く…「メンタルヘルスの専門家ならだれもが口をそろえてこう言うでしょう。他の人を助ける事で本質的に自分自身が助けられるのだと。他の人を助けることでストレスが軽減され…私たち自身のメンタルヘルスと幸せのためになる事が、圧倒的な証拠で示されています。その中で培われる友情は、素晴らしい連帯意識と仲間意識を育み、それ自体がメンタルヘルスと幸せに欠かせない要素となります」今必要な部分だけを要約すると、決議 23-24 では、ロータリーの奉仕の理念(先ず自分の事より他の人の事を助けなさい)が、実は人生における成功と幸福の基礎である事とあります。これはマッキナリーさんの提唱(他の人を助ける事で本質的に自分自身が助けられるのだと…私たち自身の幸せのためになる)と一致します。又、その後のマッキナリー文書の後半はロータリー活動がこうであればいいなと考えさせてくれます。こう考えている頃、昨年8月18日の公式訪問の事前会議で、RI に直接触れているだろう立場の折井ガバナーに最後に質問したのは以下2点です。1) 決議23-24は既に過去のもので、日本のロータリーだけが未だに支持している種類の物か。2) マッキナリーさんのメンタルヘルス対策の提唱はこの決議 23-24 とリンクしているのではないか。折井ガバナーの所見は、「決議 23-24 は今も日本だけでなく世界のロータリーが大事にしているものであるという事とその視点は素晴らしい。面白い」というものでした。これで私の中のもやもや疑問②はある程度払拭されましたが、疑問①の見つけてしまった文献の中の記述(「ロータリーの奉仕の理念」は意図的に、明確に示されていない)に付いて相変わらずもやもやは直りませんでした。時が過ぎ、最近はこの疑問について、自分の中で以下の様に解釈し、消化し始めました。つまり、我々は時代に依らず普遍性のある、素晴らしい理念をロータリーに求めがちですが、117年間にわたるロータリーの歴史の中で、時代により社会のありようも変遷し、かつてのロータリアンが求めた本来普遍性のあった「ロータリーの奉仕の理念」が時代に耐えられなくなって来ているのかも知れない。であるならば、今を生きる我々が「ロータリーの奉仕の理念」を築いていかなければならないのかも知れません。それが意図的に、明確に示されていない理由だと思ひます。しかしながら、私自身は現在、決議 23-24 に依る「ロータリーの奉仕の理念」の信奉者です。青木氏の言っていた「ロータリーは、人がどのように生きれば幸せになれるかを訓えてくれていた」という言葉が忘れられません。以上会長告知とさせていただきます。

◆**幹事報告・宮坂 康弘君**＝本日の例会は金子市長による年頭所感です。宜しく願いいたします。1月26日は、職場奉仕委員会による例会となります。会場は原田泰治美術館となりますので、お間違えないようお願いいたします。また2月25日(日)に諏訪グループ インターシティミーティングが開催されます。出欠のご返信をお願いいたします。

◆**職場奉仕委員会・小針哲郎君**＝1月26日は、原田泰治美術館で職場訪問例会を行います。旧サンタモリーナ協会で昼食を用意しております。皆様、ご参加宜しく願いいたします。

◆**クラブフォーラム・年頭所感 金子ゆかり諏訪市長**

今日はお招きを頂き有難うございます。改めまして明けましておめでとうございます。本年も宜しく願いいたします。元旦の大地震ですが、被災地で亡くなられた方、避難所へ避難されている方がいらっしゃる現状を踏まえ、心からお悔やみを申し上げます。元旦の地震直後には、諏訪市内の被災状況を確認し、皆様に特に問題はありませんでしたと発表しご安心をいただいた後、被災地支援は何か出来るだろうということで、役所が持っている物資を洗い出し、3日には県から提供する物資と合流し物資を送ることができました。諏訪地域は何度も被災地になっており、多くの皆さんに助けられています。明日は我が身、恩返しをする気持ちで対応したいと考えました。首長の仲間200人位のネットワークがございしますが、チームで対応することを学習してまいりました。沢山の被災経験の中で「チーム長野」というものを編成しており、それぞれの物資を集め被災地へ送るといった仕組みを作っております。そのような仕組みもあり、今回の震災では割と早く対応が出来たと感じております。今年のスタートは厳しい幕開けになりましたが、登庁の日、職員にどのように伝えたら元気が出るのかを考えた際、ポジティブな言葉が大事だなと考えました。今年は辰年です。甲の辰というのは十干のスタートで、昇っていくため元気がでるようなイメージで龍は雲を呼びます。暗雲の中スタートをきった今年でも、登龍門や雲を突き抜けるイメージでいくと、その雲を乗り越え突き抜けた暁には、青空があり太陽の光が見える。みなで頑張っていきましょうというメッセージを語っております。行政の課題は終わることがありません。一つ課題が達成すると、その時には既に何倍かの課題が目の前にある事の繰り返しです。さる4月に力強い応援を頂戴し、3期目をスタートすることができました。3期目のスタートと同時に試練が待っておりまして、霧ヶ峰の大規模火災があり、自衛隊の皆様に応援頂きました。私が現場で守ってほしいとお願いしたことは、消防士を含め、現地の方々を怪我をする等の人災にならないこと、またお土産物屋さん等の観光資源の建物火災を防いで頂きたいということでした。皆様の応援の中、無事対応が完了出来ました。本当に有難かったです。それから、市政80年で初めて予算案否決という経験をいたしました。早期に修復したいということで、後に臨時議会をセットしまして、理解を頂き予算を通し



進めることができました。また、8月15日の伊那谷直撃かと思われた台風ですが、市民の皆さんの思いが通じ回避することが出来ました。諏訪の街づくりという意味で一番の根幹に据えているのは、コンパクトシティ化ということです。人口減少が進み高齢化が進んでおります。何か手を打たなくてはならないということで、コンパクトシティを進めております。適正規模・適正配置ということで、将来の皆様が重荷に感じない街づくりになるよう計画を進めております。今、駅の東口が出来、西口が開き、国道20号、大事な基幹道路が出来ていなかったことで、他のところに負荷がかかってしまっている状態でした。整備をしながら、中心市街地に機能を集約し、二次交通と住居区域を結びながら、街の賑わいを維持出来るような設計の根幹にあるのが、文化センター、駅西口、諏訪イベント広場です。今年は文化センターの基本設計を行っております。新しい文化センターとして生まれ変わり、沢山の人の利用して頂こうという計画です。会議所の皆様からご要望のある連続立体交差事業ですけれども、今まで市として都市計画をセットしたことはございません。何十年ぶりに期成同盟会を開催し、改めてご意見を伺いたいと考えています。そうしないと駅舎・駅西口の課題に着手できない。築70年という県内で一番古い駅舎でバリアフリーになっていない。諏訪の街づくりを考えた時に、バリアフリー化、ユニバーサルツーリズム、車いすでも足腰が元気でなくても同じように観光が楽しめるという観光地を作ろうとしています。観光庁の高付加価値化推進事業に今年もエントリーしまして、6億数千万の事業が認められております。AI デマンド交通ということで、実証実験を行い、2年後に新たな仕組みを入れると同時に、自治体ライドシェアということで、タクシーの皆さんとの共同作業で新たな仕組みを検討しております。「未来への投資」という言葉を使っている背景には、みんなが喜んでもらえる基礎作りが我々の責任だと思って取り組んでいるところがあります。ご批判を頂きながらも、こうした想いを伝え、少しでも事業が前に進むように頑張っております。

最後に、トライアスロンですが、諏訪6市町村が連携してやる大きなイベントの一つであり、これをやりたいという方々の熱意が、第一回目を成功に導いてくれました。今年6月23日に第2回目を実行することになりました。無事に開催できるように頑張りますので、引続きお力添えいただければと考えております。より魅力を磨き、磨けばさらに輝く諏訪地域、諏訪市を作っていきたい。魅力の架け橋である高原諏訪湖畔都市を目指し頑張りたいと思います。引続き、ロータリーの皆様には、ご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。本日お招き頂きましたことを感謝申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。有難うございました。

◆**今後の例会日程**

2/2(金)	クラブフォーラム(平和構築と紛争予防月間)
2/9(金)	クラブ協議会 上半期会計報告(卓話)・ガバナー補佐訪問
2/16(金)	準法定休日
2/23(金)	法定休日
2/25(日)	諏訪グループ インターシティミーティング・会員セミナー